

第2章

東松島市の状況

1. 位置と地勢
2. 気 候
3. 人口・世帯数
4. 年齢階層別人口比率
5. 産業人口
6. 土地利用



第2章 東松島市の状況

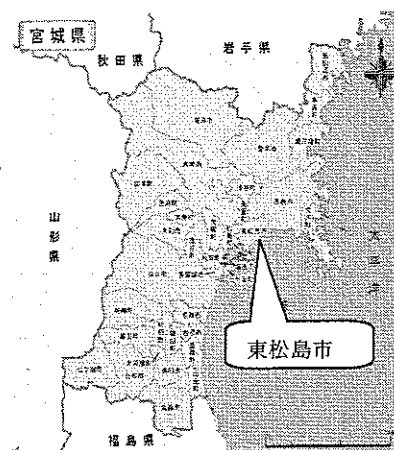
1. 位置と地勢

概況

本市は、宮城県東部に位置し、仙台市から北東に約30kmの距離にあり、東に石巻市、西に松島町、北に美里町と接し、南側は太平洋に面しています。

面積は101.86km²で、気候は年間平均気温が約11℃、年間降水量約1,000mm、風速は最大14m/sec程度、降雪も少なく、東北地方では比較的温暖で、風雨の少ない地域であります。

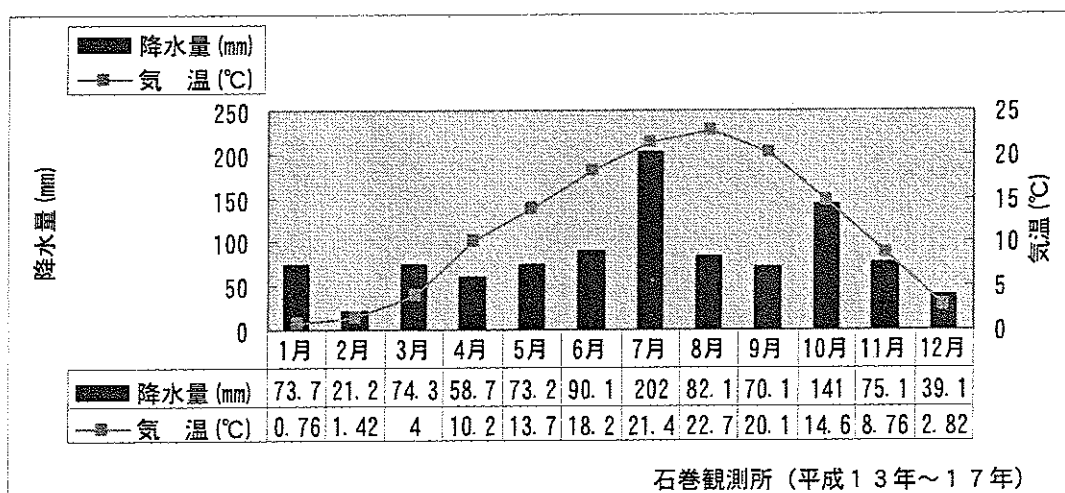
市域の東部は、肥沃な田園が広がる平坦な地形、中央部には四方を一望できる桜の名所「滝山」を中心とする丘陵地。西部は、一級河川鳴瀬川・吉田川が太平洋に注ぐとともに、南西部には風光明媚な日本三景「特別名勝松島」を有し、変化に富んだ美しい自然景観を有する市です。



2. 気候

概況

ここ5年間の平均データを示しているが、年平均気温は11℃前後、年間降水量約1,000mm前後で推移しており、風雨も少なく、冬でも氷点下となる日が少ないなど、東北地方としては比較的温暖な住みやすい地域と言えます。



3. 人口・世帯数

東松島市の人口は、平成 17 年 10 月 1 日現在の国勢調査で、43,235 人です。

少子化により、宮城県だけでなく日本全体で人口が減少傾向に転じる中、増加を続けています。昭和年から平成 17 年までの 25 年間の本市における総人口の推移は、図のとおりです。昭和 55 年から平成 7 年までは、順調に増加を続けてきた人口も、平成 7 年以降は微増に転じています。

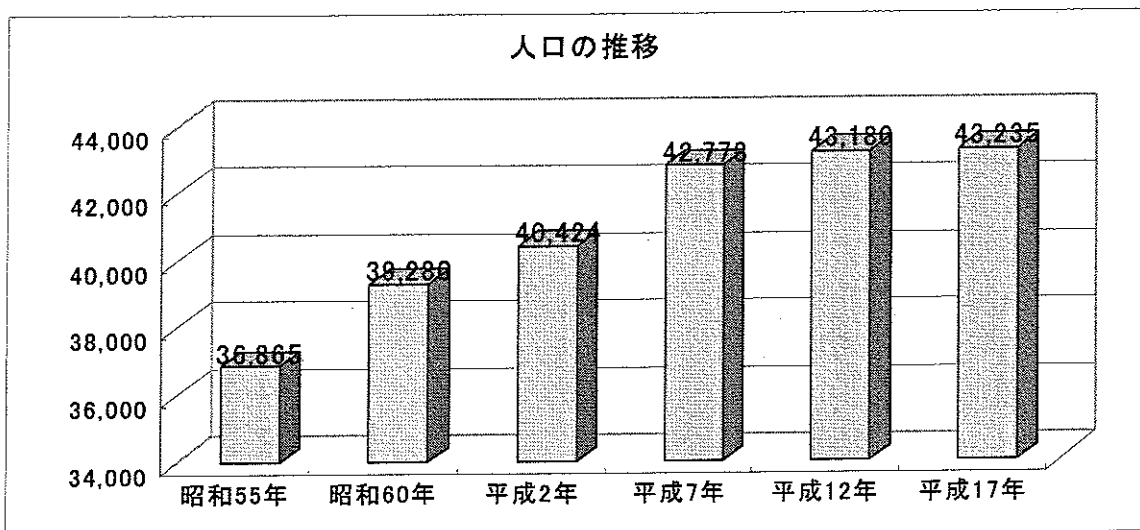
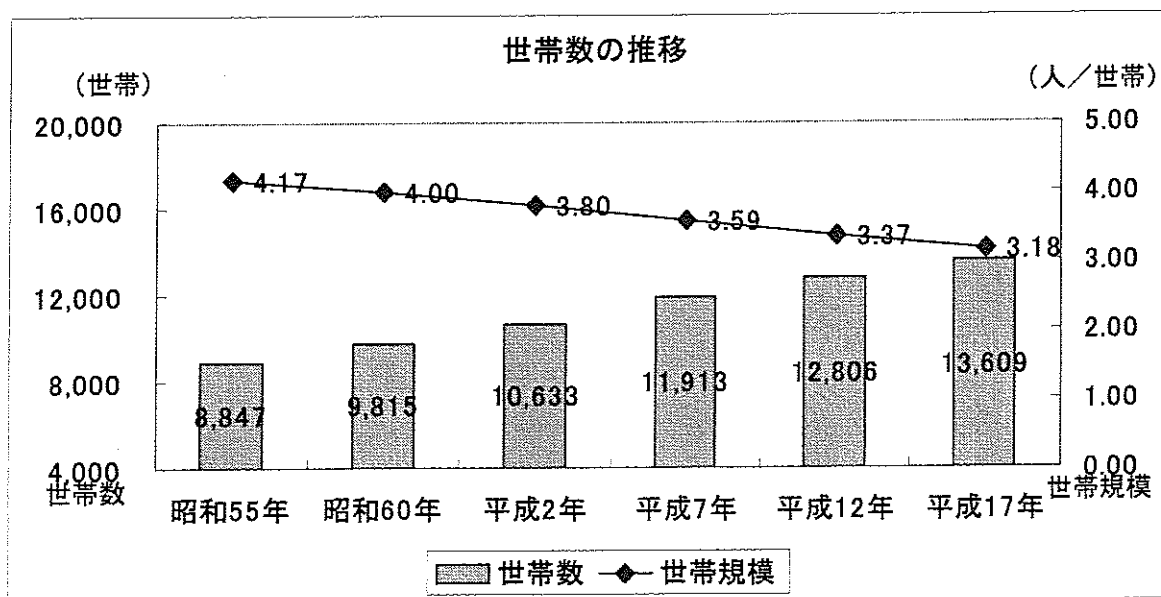


図 人口の動態 資料：国勢調査

世帯数については、増加傾向が続いています。

これは、大家族から核家族へという世帯構造の変化が主な要因と考えられ、全国的に同じ傾向にあります。このことは、世帯当たりの人口の変化にも現れており、平成 7 年には 3.5 人であった 1 世帯あたりの人口が、平成 17 年には 3.1 人まで減少しています。



4. 年齢階層別人口比率

平成17年現在において、65歳以上の高齢者人口は17.8%となっていますが、高齢者人口は増加を続けています。

今後もこの傾向は続き、平成28年には高齢者人口は20.9%に達し、14歳以下の人口も14.2%、15～64歳の人口も64.9%に減少すると推測され、少子高齢社会がより現実のものとなります。

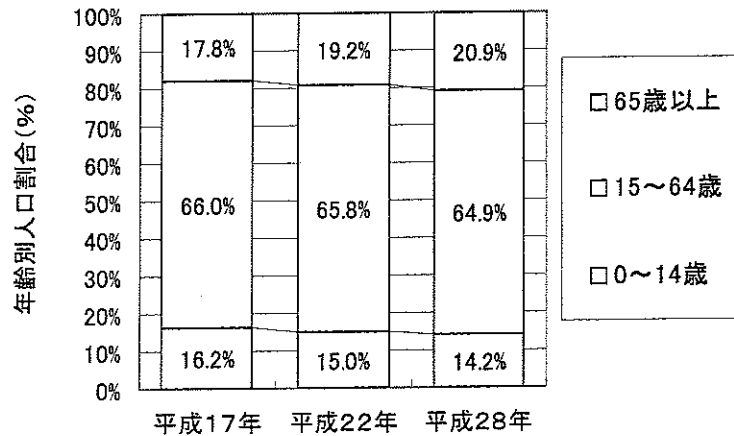
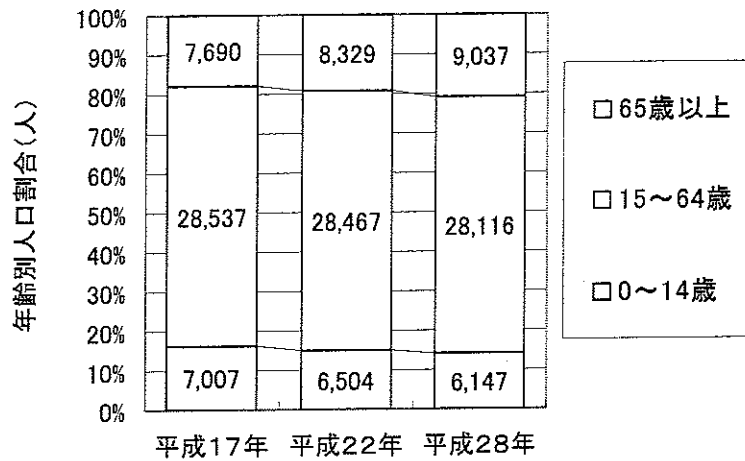


図 年齢階層別人口とその比率

資料：国勢調査及びコーホート法将来人口から推計

※コーホート（要因）法とは・・・

コーホート要因法とは、男女別・5歳階級別の人口のまとまり（コーホート）の経年的な増減の傾向を将来に延長して将来人口を推計する方法のことです。出生・死亡及び転出入という2つの人口変動要因を加味した推計が可能な点に特徴があります。

資料：市総合計画

5. 産業人口

就業人口は全般的にみると平成2年から7年にかけては増加しましたが、平成12年にはわずかに減少しています。内訳としては、農業をはじめとした第1次産業が減少し、第2次産業、第3次産業が増加しています。

産業別就業人口の推移

東松島市 計	就業別人口（単位：人）				構成比		
	第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業	計	第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業
H2	3,497	5,520	10,391	19,408	18.0%	28.5%	53.5%
H7	2,661	6,047	12,083	20,791	12.8%	29.1%	58.1%
H12	2,237	6,171	12,228	20,636	10.8%	29.9%	59.3%
H12 宮城県	74,909	308,315	759,343	1,142,567	6.6%	27.0%	66.4%

概
況

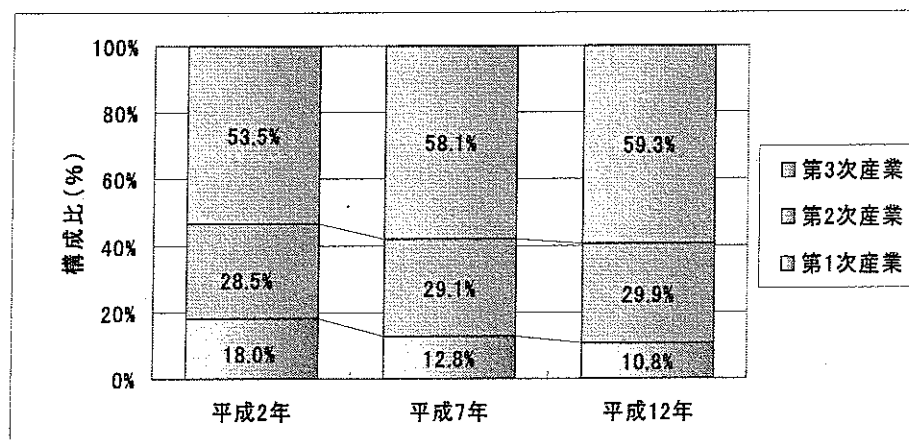


図 東松島市産業別就業人口構成比の推移

資料：宮城県の人口動態

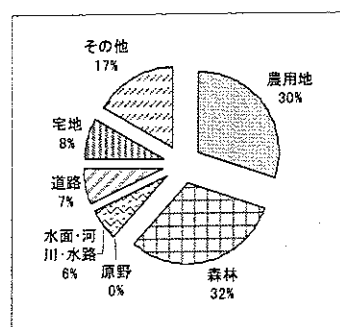
資料：市総合計画

6. 土地利用

東松島市は 101.86 k m²の面積を有しており、平成 16 年における土地利用状況は、山林が 3,206 k m²と全体の 31.47%を占めています。続いて田 26,40k m²・25.92%、その他 16.85 k m²・16.54%、宅地 8.44 k m²・8.29%の順となっています。また、平成 5 年から平成 16 年までの地目別面積の推移からは、田・畑などの農用地の面積が毎年減り続け、道路や宅地面積の増加に結びついていることがうかがえます。

表 土地利用区分面積(ha)

利用区分	平成7年	平成12年	平成16年
1. 農用地	3,230	3,167	3,070
1) 田	2,742	2,708	2,640
2) 畑	488	459	430
3) 採草放牧地	0	0	0
2. 森林	3,231	3,208	3,206
1) 国有林	417	419	428
2) 民有林	2,814	2,789	2,778
3. 原野	14	14	14
4. 水面、河川、水路	637	638	637
1) 水面	52	49	49
2) 河川	443	443	443
3) 水路	142	146	145
5. 道路	612	707	730
1) 一般道路	421	512	528
2) 農道	187	190	196
3) 林道	4	5	6
6. 宅地	772	804	839
1) 住宅地	520	549	566
2) 工業用地	14	16	24
3) その他の宅地	238	239	249
7. その他	1,689	1,648	1,690
合計	10,185	10,186	10,186



図：土地利用区分の面積割合
(平成 17 年度)

概
況

資料：市総合計画